

初版第3刷（2017.6.30 発行）初版第2刷（2013.6.5 発行）、初版第1刷（2011.12.20 発行）

ページ	行	誤	正
59	上から11行目	19人以上の	19人を超える
74	下から10行目	(4.14)式内 L/D_{tr}	$(L/D)_{ltr}$
79	上から17行目	$W_6/W_5=0.99$	$W_6/W_5=0.990$
79	下から10行目	4.2.2 項	4.2.3 項
104	上から8行目	$2(W/S)\rho C_{LmaxL}$	$2(W/S)\underline{\rho} C_{LmaxL}$
105	上から5行目	$W_E=265\ 000\ lb$	$W_{OE}=265\ 000\ lb$
126	上から12行目 および 下から1行目	指示大気速度	指示 <u>対</u> 気速度
126	上から17行目	校正大気速度	校正 <u>対</u> 気速度
126	上から19行目 および 下から1行目	真大気速度	真 <u>対</u> 気速度
155	上から14行目	決めてもよい。	決めてもよい（脚注参照）。
155	脚注追加		注) 近年のジェット旅客機に関する水平尾翼容積 V_H の値は、航空機設計法実践編（李家賢一、コロナ社、2020年）3.3.1 節（p.21）を参照されたい。
166	下から12行目	(7.16)内 AR_v	AR_{v_ef}
166	下から11行目	と表される。	と表される（脚注参照）
167	上から6行目	可能性ある。	可能性がある。
166	脚注追加		注) (7.16)式中の AR_{v_ef} は水平尾翼による翼端板効果を考慮した垂直尾翼の有効アスペクト比のことであり、 AR_v の1.55倍の値をとる ⁶⁾ 。
217	上から6行目 (式(11.20) 右辺第2項 の”+”の直後)	$(nW/\delta)/q_0^*$	$(nW/\delta)^2/(q_0^*S)$
218	下から10行目	V_{s1} の約1.2倍である。	V_{s1} の1.15~1.2倍である。
219	下から10行目	注意する。	注意する（脚注参照）。
219	脚注追加		注) 航空機設計法実践編（李家賢一、コロナ社、2020年）D.1.2 節（p.172）参照。

280	左から 3 段目 上から 17 行目	校正大気速度	校正 <u>対</u> 気速度
281	左から 1 段目 上から 5 行目	指示大気速度	指示 <u>対</u> 気速度
281	左から 1 段目 下から 11 行目	真大気速度	真 <u>対</u> 気速度